

【出題意図】

問1：基礎的な国語力を確認しています。

問2：以下の4つのポイントを重視して評価します。

- ① 知識・技能 「出題の意図を正しく読み取り、答えるために必要な知識を持っているか」。具体的には、「民主主義＝単なる多数決」という思い込みを捨て、民主主義の本質を深く理解しているか、また対立を調整し解決へと導く現実的な知恵を持っているかを問うています。
- ② 思考力 「何を書くことが求められているかを理解し、根拠を示しながら筋の通った分かりやすい文章が書けているか」。具体的には、課題文にある「誰一人置き去りにしない社会（合意形成）」と「多数決で物事を決める社会（合意形成）」という2つの考え方を理解した上で、説得力のある具体例を挙げられているかを問うています。
- ③ 判断力 「論理的に考え、説得力のある結論を導き出せているか。具体的で実現可能な意見を述べられているか」。具体的には、理想論を語るだけでなく、それを実際の教育現場や社会でどう実現するかを具体的に考える力を問うています。
- ④ 表現力 「論述の中で、自分なりの視点や気づきを示せているか」。具体的には、自分自身の経験や独自の考えに基づいた、オリジナルの解決策を提案できるかを問うています。